

「あいち文化芸術振興計画 2027」（案）に対する意見の概要及び県の考え方

番号	御意見の概要	県の考え方
1	<p>文化芸術は人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上での大きな力となるものと考えます。</p> <p>未来ある子育て世代の若者が住みやすいと感じるには「子供が安心して歩ける街づくり」をコンセプトに展開していただきたい。</p>	<p>本計画の施策の体系では、めざすべき姿として、「文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知を実現」を掲げ、4つの基本目標、10の基本課題に取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、担当局と情報共有させていただきます。</p>
2	<p>最近ではコスプレ祭りなど多種多彩なイベントを通じて文化形成されてきているが、愛知の誇るべき文化は何があるのか。今一度、文化の検証を愛知県として地に足をつけて取り組み、愛知の伝統文化や歴史から再現できる企画を見つけることが重要である。</p> <p>人間社会において文化芸術は社会形成上欠かせない要素の一つであり、地域の歴史と紐付けた市民参加型のイベントを企画し、体験を持って歴史に触れ、「祭り」の意味を理解する場を提供するのは愛知県として重要な役割と考える。</p> <p>歴史を忠実に再現した祭りもよいが、例えば愛知県警が騎馬隊に扮し、セントラルパークを巡回するパフォーマンスを取り入れ、郷土三英傑を主役とした新しい「祭り」を検討していただきたい。</p>	<p>愛知には、優れた民俗芸能などの伝統文化や、伝統的工芸品などのモノづくり文化、個性豊かな歴史や豊かな風土に育まれた個性的な食文化、地域に根差した文化活動や風習など、多様で魅力的な文化が多数存在しています。</p> <p>改めて、愛知が誇る文化の検証を行うとともに、県民の皆様により、愛知の文化を誇りに思ってもらえるよう、取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
3	<p>混雑した展覧会での経験から、単に文化芸術の鑑賞の機会を提供するだけではなく、質の高い鑑賞の機会の提供という視点も必要だと感じた。機会があっても必ずしも「鑑賞」できるとは限らないということを伝えたい。</p> <p>質の高い鑑賞の機会を提供するための方法は様々だが、第一に考えられるのは混雑緩和である。好きなだけ時間をかけて展示物を見たり、写真に撮ったり、模写する機会は、価値あるものを自分の価値に落とし込んで見ることに繋がる。多くの人に知ってもらい興味を持ってもらうことは重要だが、最終的には文化芸術の真の価値や意義、素晴らしさを自分なりに理解してもらうことが重要であると考え。</p> <p>また、質の高い鑑賞機会の提供は、自ずと個々人の鑑賞方法を尊重する形となるため、感染症対策や、障害者、高齢者など配慮が必要な方々の鑑賞の支援という側面からも重要な施策になると考える。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標1「県民が等しく文化芸術に関わり、心を豊かにすることができる環境の整備」において、基本課題(1)「県民の文化芸術活動や鑑賞等の機会の確保とその推進」を挙げ、県文化施設の施設整備や質の高いサービスに加え、情報通信技術(ICT)を活用した公演の動画配信やオンラインを用いた新たな手法を取り入れるなど、質の高い鑑賞の機会の提供に取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>収蔵品をフォトグラメトリ等で再現する取り組みが様々な市区町村で行われているため、愛知においても市民がインターネット上で収蔵品を3Dモデルとして閲覧可能な取り組みを実施していただきたい。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標1「県民が等しく文化芸術に関わり、心を豊かにすることができる環境の整備」において、基本課題(1)「県民の文化芸術活動や鑑賞等の機会の確保とその推進」を挙げ、新しい手法を活用した文化芸術の発信に取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
5	<p>近年、年齢や障害の有無、経済的な状況、居住する地域、国籍等にかかわらず表現ができる「メタバース」が注目されている。ICT活用の観点からもメタバースの活用を検討を行うことを記載していただきたい。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標1「県民が等しく文化芸術に関わり、心を豊かにすることができる環境の整備」において、基本課題(1)「県民の文化芸術活動や鑑賞等の機会の確保とその推進」を挙げ、新しい手法を活用した文化芸術の発信に取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>大愛知であり、坪内逍遙、二葉亭四迷から始まる日本近代文学者の出身地にも関わらず、以前から要望している「愛知近代文学館」の建設計画がいまだに実現していない。</p> <p>そもそも愛知には、本来なら国立であってもよさそうな文化施設がない。今や遅すぎるとはいえ、愛知近代文学館の開設を強く求める。美術や音楽などの分野と比べ、「文学」への関心がなさすぎる。建物を建設しても中身がなければ意味がないため、まずは資料集めを県が率先してやるのが道理にかなうであろう。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標1「県民が等しく文化芸術に関わり、心を豊かにすることができる環境の整備」において、基本課題(1)「県民の文化芸術活動や鑑賞等の機会の確保とその推進」を挙げています。また、基本目標3「“愛知発”の創造・発信」において、基本課題(7)「愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開」を挙げ、県図書館において、文学を含めた地域資料の収集・提供を行ってまいります。</p> <p>いただいた御意見については、関係機関と情報共有させていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
7	<p>短期的な施策ではあるが、文化芸術に触れる機会創出のため、観劇等に使える割引クーポンの発行などを検討いただきたい（コロナで打撃を受けた飲食業、旅行業などの回復を目指したクーポンと同様）。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、文化芸術活動の自粛や縮小が求められ、文化芸術関係者はもとより県民全体が多大な影響を受けたことから、文化芸術を振興するためには、その土台である環境整備こそが重要であると認識しております。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、経済産業省では、消費者が安心してイベントに参加できる環境を醸成することで、新型コロナウイルス感染症により特に影響を受けた文化芸術やスポーツに関するイベントの需要喚起をするため、期間限定で「イベント割事業」を実施しています。（実施予定期間：2022年10月11日～2023年1月31日）</p> <p>一定の条件の下、キャンペーン期間中のイベント・エンターテインメントのチケットを購入した消費者に対し、通常価格の2割相当分（上限額2,000円）の割引等がされることとなり、対象となりうるジャンル例として、演劇や音楽コンサート、芸能・演芸、伝統芸能、舞踊などが列記されています。</p>
8	<p>学校教育の中に文化・生活を一体化した「新しい学校」を提案する。</p> <p>民間企業とコラボすることで、施設校舎として塾やギャラリー・シアターを取入れ、常に文化に触れられる環境を提供し、芸術科目の授業時間数が減少している現状をカバーする。塾が校舎内にあることで、共働きの世代にとっても安心して働く時間が確保できるメリットがある。</p>	<p>文化芸術に関する教育は、豊かな人間性や創造性を涵養し、感動や共感、心身の健康など、人々に多様な恩恵をもたらすものと認識しております。</p> <p>いただいた御意見については、担当局と情報共有させていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
9	<p>子どもの文化芸術体験の推進において、幼児への取り組みが少ないのではないかと感じる。</p> <p>「子ども」の定義には、幼児が含まれていると考えられるが、現在行われている施策や計画で述べられている施策では、児童・生徒への取り組みが重視されている印象である。また、県芸術劇場のファミリー・プログラムは、小学生以上がおすすめとされたものや、小学生に限定したプログラムが多くみられる。</p> <p>幼児教育の視点からも、創造力のある人格形成のためには、小学校入学前の時期から文化芸術に触れることが重要であるとされている。</p> <p>プログラムの内容設定や安全性など様々な意図があると予想されるが、重要な目標の柱として掲げられている次世代の人材育成に繋がる点でもあるため、幼児の文化芸術体験の推進に目を向けていくべきだと考える。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標1「県民が等しく文化芸術に関わり、心を豊かにすることができる環境の整備」において、基本課題(2)「子どもの文化芸術体験の推進」を挙げ、県芸術劇場では、ファミリー・プログラムとして幼児向けプログラムを設定するなど、小さなお子様にも文化芸術に触れていただける機会を提供しています。</p> <p>しかしながら、10の基本課題の【現状と課題】や42の主な施策において、施策の対象として「幼児」が明記されていないことから、基本課題(2)の【現状と課題】に「幼児」に対する文化芸術体験の推進についても明記することといたします。</p>
10	<p>舞台芸術の企画運営や管理に関わる人材育成のため、長期にわたる人材育成プログラムの開発や、課題を共有し、解決を目指すカンファレンスの定期開催などを検討いただきたい。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標2「愛知の文化芸術を未来につなぐ人づくり」において、基本課題(5)「文化芸術と県民をつなぎ、支える人材の育成、確保」を挙げ、県芸術劇場では、劇場運営や舞台技術、アートマネジメントに関する専門人材の育成など、実践的な研修を行っています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
11	<p>愛知芸術文化センターの立地を活かし、今以上に文化芸術に触れられるようになると良いと思う。</p> <p>例えば、2階のオアシス 21 連絡橋とオアシス 21 の芝生がある付近に、名古屋市等とも協働し、管轄や法律など様々な障害を乗り越え、無料で作品発表や作品鑑賞ができる小さいアートギャラリーができると良い。</p> <p>また、その芝生付近に、オアシス 21 のイベントや天候に考慮しながら、ほぼ毎日、無料の音楽コンサートを鑑賞できる小さな屋外コンサート施設があると良い。</p> <p>さらに、街中で「生演奏」に触れる機会が増えると、子供達にも文化芸術に触れられる機会に繋がる。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標 3 「“愛知発”の創造・発信」において、基本課題（7）「愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開」を挙げ、愛知芸術文化センターを始めとした県文化施設の、今後の一層の活性化を図るため、運営手法や経営形態も含めて、改めてあり方を幅広く多方面から検討してまいります。</p> <p>また、お子様を始め、誰もが文化芸術に触れることのできる環境の整備に努めてまいります。</p>
12	<p>瀬戸市は瀬戸物の町であるが、衰退の現状を踏まえ、新しい発想で町おこしを提案する。</p> <p>道路はアスファルトではなく瀬戸の瀬戸物を敷き詰め、ここにしかない「道」を作る。</p> <p>例えばスペインの建築家であるアントニ・ガウディの独創的な建築のような、その名も「瀬戸ガウディ」と命名しても面白い。遊び心も持って取り組むことも必要である。</p> <p>このような企画提案には瀬戸物を活用した伝統文化を広めるために自治体と愛知県が連携した対応が望ましい。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標 4 「愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上」において、基本課題（8）「愛知の文化資源等を活かした地域力の向上」を挙げ、県内市町村が地域の文化資源等を活用して地域力を向上できるよう、県として支援をするなど、連携して取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、瀬戸市と情報共有させていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
13	<p>ジブリパーク敷地内のバスは「ネコバス」仕様にすべき。ワクワク感が全くない。</p> <p>エンターテインメントとしてジブリ感に拘ることも必要ではないか。</p>	<p>ジブリパークが整備された愛・地球博記念公園内では、ジブリパーク開園に合わせて、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）をイメージしたデザインのバス2台とジブリパークをイメージしたデザインのバス2台の計4台を運行しています。</p> <p>いただいた御意見については、担当局と情報共有させていただきます。</p>
14	<p>車道商店街の発展（活性化）に向けて取り組むべき提案</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 車を優先した車道の街づくりではなく、歩行者を優先した街づくりが必要。 ② インフラ整備をする上で町の文化・歴史を認識し「道作りの考え方」を改めるべき。 ③ JR「千種駅」、地下鉄「千種駅」を利用する人々の動線を意識して街づくりをすべき。 <p>県、市単位の文化振興には小さな商店街の復興も必要である。街には歴史があり、歴史の中に文化が育っているはず。商店街に住む住民が世代交代しているなら、歴史を紐解き残すべき文化を見つけ、商店街の復活に繋げる取り組みがあるべきではないか。</p> <p>また、車道商店街は尾張徳川家菩提寺でもあった建中寺とも近く、尾張徳川家の魅力発信が可能なエリアである。さらに、名古屋市が進める栄の再開発地区とも近隣地区であり、若者にも歴史・文化に触れる機会創出を企画立案していただきたい。</p> <p>愛知県は岐阜県エリアとも近く戦国時代からの魅力ある人物、史実が多い愛知、岐阜をはじめとする東海エリアが連携し歴史発信を一元化できる仕組みを構築することで、東海エリア全体の活性化にも繋がると考える。</p>	<p>本計画の施策の体系として、基本目標4「愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上」において、基本課題（9）「伝統芸能や文化財等の維持、継承等」を挙げ、地域の伝統文化を知り、鑑賞・体験できる機会の提供などに取り組むことで、愛知の文化芸術を未来につなぐとともに、地域の活性化や地域力の向上を図ってまいります。</p> <p>いただいた御意見については、担当局と情報共有させていただきます。</p>

番号	御意見の概要	県の考え方
15	<p>愛知県新体育館において、世界トップクラスのアリーナを目指すとともに、国内外の音楽のコンサート等の開催を通じ、愛知県の文化芸術活性化に寄与できるものとして期待している。</p> <p>例えば、年に1回、様々な音楽家等が最先端のアリーナでコンサートを無償で体験でき、誰もが自由に観覧できる音楽芸能フェスティバルを開催し、それをYouTubeで発信することで、愛知県を国内外へPRできるとともに、文化芸術のすそ野も広がると思う。</p>	<p>愛知県新体育館については、コンセプトの一つとして「全国レベルのコンサート、イベント、コンベンション等の拠点となる施設」としており、国内外から多くの集客につながる魅力的なエンターテインメントのコンテンツを呼び込んでいけるよう、整備・運営事業者と連携して取り組んでまいります。</p> <p>いただいた御意見については、関係機関と情報共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>持続可能な社会の実現（SDGs）でもある取組の1つとして、破棄することが難しいビニール傘の利用を削減する取組について、東海地区の産学官連携を推進する。</p>	<p>文化芸術基本法や愛知県文化芸術振興条例において、文化芸術の振興に当たっては、産業等の関連する分野との有機的な連携が図られるよう配慮を求めています。</p> <p>いただいた御意見については、担当局と情報共有させていただきます。</p>